



2014-7-8  
第 683 号

# 京都青年

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION NEWS

ホームページ <http://www.kyotoymca.or.jp>

京都YMCAの使命

京都YMCAは

- ・イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、青少年と共に精神・知性・身体の全人的な成長を促す運動をすすめます。
- ・人々との出会いを通じ、互いの人権を尊重し、生涯にわたって共に学び合う学習活動を展開します。
- ・地球的な視点から、望ましい環境の実現につとめつつ、いのちあるすべてのものがともに生きる平和な世界を築く運動を展開します。

〒 604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 ●京都版発行人／神崎清一 THE YMCA 2014年7月1日発行（毎月1回発行）昭和22年10月27日第三種郵便物許可

## 今、若者にYMCAが

## 何ができるのか

日本YMCA同盟総主事 島田茂

国会で選挙権を18歳以上に引き下げることが審議されています。世論調査では賛否が分かれています。18歳の2割程度の若者が就職し税金を納めていることを考えると政治に参加する権利を守るべきだと思います。

一方で、大学の入学式や卒業式、更には、会社の入社式にも親が同伴で出席するというニュースを見て首を傾げます。国の未来を決める選挙権を18歳に引き下げるといふ改正案と、入社式まで親がついて行き、時に就職した子どもの企業に親が口を挟むという世相とは相反しているように思われるからです。社会人となっても依存的で自立できない若者が増えている傾向を示す現象であると思いますが、国が選挙権を18歳に引き下げに伴い、若者が自立した市民へと育っていくことを願います。

世界のYMCAは、「ユース・エンパワーメント」を共通の目標としています。世界YMCA同盟のホームページ

「Empowering Young People」という英語の文字が真つ先に飛び込んできます。エンパワー（Empower）という言葉は、直訳すると「力をつける」

「Empowering Young People」ということですが、「権限を委ねる」「権利を与える」という意味があります。社会において若い人々が自分自身の人生・生活を委ねられ、自分自身の未来



を決めることができる状態になるように、夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っている力を引き出すことが「エンパワー」ということです。

若者子どもから自立した大人へ「エンパワー（権限を委ねる）」するためには、段階を経る必要があります。乳児がいきなり固いものを食べられないように、一足飛びにはいきません。動物は、子どもを自立させる過程で、子ども同士の遊びを見守り、時を経て少しずつ離れ、最後は、ついてくる子どもを突き放します。

YMCAの委員として長く多くの指導者を育成してこられた児童精神科医の佐々木正美氏は、人間の発達段階には、「飛び級」はないと教えています。立てるようになるには「はいはい」を、「はいはい」をするために「寝返り」が必要のように、こころの発達も育つ過程が大切であることを伝えていきます。赤ちゃんは、泣くことで要求を伝え、親が無条件に応えることで基本的な信頼を獲得します。基本的な信頼を得た乳児は、トイレの排泄等の経験を通して自律性を習得します。自律性を習得した幼児は、遊びを通して積極的に行動半径を広げ、好奇心を満足させ、自発性を養います。児童期になると友だちとの遊びを通して学ぶ意欲や勤勉性を身に着けるのです。放課後塾で勉強することで勤勉性を身につけるのではなく、友だちと過ごす時間が不可欠で、野外での遊びやスポーツを通して、友だちとの関わりの経験を積み重ねることで社会性や想像力、そして、学習意欲と勤勉性を身につけるのです。人間関係における責任感や権利意識も友だちとの

遊びを通して学びます。バランスのとれた成長をするためには、成長の過程に従い、その年代にあった関わりが大切です。乳児期には乳児期の、児童期には児童期の、青年期には青年期の関わりが必要なのです。

京都YMCAは、125年の経験と世界のネットワークを生かし、児童期にはキャンプやスポーツなどの活動や青年期にはボランティア活動や専門学校などを通して、青少年の発達段階に必要な経験の機会を提供し、心と知性と身体のバランスのとれた全人的な成長を目指し歩み続けてきました。国際協力や交流活動を通して、多くの若者を地球市民として育む活動を行ってきました。特に、生涯を通して成長しあう場として、YMCAをサポートするワイズメンズクラブの活動も日本で最も活発に展開しています。これからも京都YMCAが多くの若者の成長の場となることを期待します。



日本YMCA同盟総主事

島田茂



# 活動報告

kyoto ymca activity report

## 京野菜直売会 FLAVOR'S マルシェ



5月11日(日)第4回京野菜直売会を開催しました。京都ワイズメンズクラブの新しい地域奉仕事業である「地場産業支援↓京野菜支援」のプログラムです。京野菜スイーツ店を中心に桂高校農業科生徒をはじめ京北町の農家や宇治



田原の障がい者施設などの京野菜生産に携わる人たちと一緒に三条通を通行する方々に京都YMCAへの支援を訴えながらの野菜等の販売です。これまでの各回とも、旅行者やご近所のお馴染みさんにも出店者にも好評で、三条通の催し物として定着してきた感じがします。三条通の風物詩と呼ばれるようになるまで、125周年の1年間毎月1回開催予定です。



次回開催日は  
8月24日です

施設の事業を支援し、売り上げの一部を京都YMCAに寄付するというこの事業ですが、「YMCAで発達障がい児のサポートプログラムをやったはるとは知らなかった」「施設の障がい者たちが育てた野菜を販売することで、さらに発達障がい児のために寄付をしはるとは」「この野菜を買うことで私も協力できるの?ほんならこれとこれも追加でもらうわ」などありがたい言葉をかけてくださるお客様方。以前に京都YMCAで活動されていて、つい最近京都に戻って来られた方が、「Facebookでチラシを見て...」と、ご家族と一緒に野菜を買いにわざわざ来てくださったことも。YMCAでのつながりの素晴らしさを実感するできごとがたくさんあります。



報告 小原絵美

学習奨励金受給生の傅さんは、『子供の頃からアニメが好きで、将来アニメを制作する事に就くことが夢です。今回の奨学金は夢を叶える大きな助けになりました!』と将来の希望を胸に目を輝かせて話していました。

## 春期YMCA 奨学金授与式

はるんや」という認識を市民に広める手段のひとつになればうれしく思います。

報告 三井哲次





小学生駅伝表彰式  
たくさん子どもたちが  
力いっぱい走り切った



屋台も子どもたちに大人気

# 第10回 かもがわチャリティーラン

五月晴れの青空のもと741人が快走！  
今年も多くのご参加、ご支援が寄せられ、活気あふれる大会となりました。



笑顔で集合写真



グループラン  
工夫を凝らした衣装で走るランナー



5月18日(日)「第10回かもがわチャリティーラン」が、177チーム741名が出場して開催されました。地域の子どもたち、福祉施設の子どもたち、市民ランナーなど、老若男女の幅広い層の参加者が、家族や仲間の声援を受けながら、小学生駅伝、一般駅伝、クオーターマラソン、ペアラン、グループランの各種目で、晴天のもと、新緑が美しい鴨川河川敷の特設コースを駆け抜けました。

会場では、YMCAを支えるワイズメンズクラブや関連団体から17の食事などの屋台出店をしていただき、出場ランナーや来場者を楽しんでいただきました。また、吹奏楽団ハイブリッド、京都

ノートルダム女子大学チャリティーディングチームアミーガス、京都学生祭典 京炎そでふれ！、フーラーラウ ホーヒエヒエ、京都 YMCA フラダンス教室の講師・受講生のみなさんが、ステージ出演で大会を盛り上げてくださいました。競技終了後は、ホテル食事券、有森裕子さんサイン入りチャリティーランTシャツなど企業、個人から寄贈いただいた賞品の抽選会が行われ、当選者が発表されるたび、歓声が上がっていました。閉会式では、大会当日までの団体・個人からの協賛金、エントリーチームからの参加費合わせて、300万円を超える金額が、大会実行委員長岡西博司さんから

神崎清一総主事に手渡されました。今大会の支援金のうち、イベントの諸経費を除いた益金が、京都YMCA、全国YMCAで行われる障がいのある子どもたちの活動の支援に用いられます。

当日の運営は、在京ワイズメンズクラブメンバー、YMCA専門学校の学生、ユースリーダーなどのボランティアスタッフ390名によって行われました。

報告 藤尾実



手作りの衣装で参加

「昨年の6月から京都に住むことになり、会社の関係で今回のチャリティーラン参加させていただきました。普段ランニングもしていない中での10.5キロでしたので、最初は正直きついなと思っていましたが、鴨川の景色を見ながら走っていると意外と楽に走ることができました。また、沿道の住民やボランティアの皆様の声援、ランナー同士のすれ違い際の励ましあいなど、スポーツを通してとてもすがすがしい気持ちになりました。また、来年も参加させていただきたいと思います。」

一般駅伝出場 田部 久貴さん  
かもがわチャリティーラン参加者の声





アーチの下を全力で駆け抜ける



京都ノートルダム女子大学 AMIGAS の華やかな演技



ボランティアリーダーたちと一緒にけん玉を手作り



京炎そでふれのバフフルなパフォーマンス



参加ランナーたち



吹奏楽団ハイブリッドの演奏力強い演奏で大会を盛り上げた

# 第10回 かもがわチャリティーラン

障がいのある子どもたちのために今年も多くの支援が寄せられました

「たくさんの人の前で走れて自信になりました。大会新で優勝できてとてもうれしかったです。」  
小学生駅伝 1 区 区間賞 田中 誠真さん (桂東ランナースチーム)



ベアラン 一生懸命な姿にたくさんの声援が送られた

### 参加者数報告

競技種目	チーム数	参加者数
小学生駅伝	54	216名
一般駅伝	42	168名
ベアラン	45	90名
グループラン	36	162名
クォーターマラソン	—	105名
参加者合計	177	741名

### 収支報告

収入の部	
競技参加	1,323,000 円
イベント収入 (食券、抽選券売上げ等)	532,080 円
協賛金収入 (企業・団体・個人寄付)	1,460,000 円
収入合計	3,315,080 円
支出の部	
日本 YMCA 同盟全国障がい児支援プロジェクト送金	663,016 円
京都 YMCA 障がい児支援資金繰入	934,415 円
プログラム費	784,686 円
会場費	581,760 円
通信費	91,930 円
広報費	259,273 円
支出合計	3,315,080 円

「お父さんや仲間と一緒に力を出きることができて大満足だった。」  
小学生駅伝出場 金田 健佑さん (京都 YMCA サッカーチーム)

今回、「第10回記念大会だから、もう一度やりなさい。」と言われ、二度目の大会実行委員長をさせて頂きました。  
10年前、第1回のチャリティーランは小雪の舞う本日に寒い日でした(3月開催)。規模は今の三分の一くらいで、チャリティーランの意味は?何を目的にしているの?どんな風にしたら良いのか?そんなことを毎日のようにいろんなところでアピールし、まるで暗中模索といった感じで行われた事を思い出します。  
今年は、参加者・ボランティア

の人達合わせて約1,000名という大所帯になりました。本当に嬉しいことです。この方々の温かい気持ち(善意の気持ち)が、いつまでもチャリティーランを支えていてくれるのだと思っています。  
「障がいのある子どもたちと共に生きる私たち自身が、子どもたちの成長を心から願って、参加し、共に走ることにあります。」この言葉を決して忘れないでください。  
第10回かもがわチャリティーラン 実行委員長 岡西博司



笑顔でピース



第 10 回 京都 YMCA かもがわチャリティーラン 概要

小学生駅伝

Table with 3 columns: 順位, チーム名, 記録. Lists 9 teams and their times for the elementary school relay race.

小学生駅伝 区間賞

Table with 4 columns: 区間, 氏名, チーム名, 記録. Lists 4 segments and the winners for the elementary school relay race.

一般駅伝

Table with 3 columns: 順位, チーム名, 記録. Lists 10 teams and their times for the general relay race.

一般駅伝 区間賞

Table with 4 columns: 区間, 氏名, チーム名, 記録. Lists 4 segments and the winners for the general relay race.

ベアラン

Table with 3 columns: 順位, チーム名, 記録. Lists 10 teams and their times for the Bear Run.

グループラン

Table with 3 columns: 順位, チーム名, 記録. Lists 5 teams and their times for the Group Run.

クォーターマラソン 男子

Table with 3 columns: 順位, 氏名, 記録. Lists 10 male runners and their times for the quarter marathon.

クォーターマラソン 女子

Table with 3 columns: 順位, 氏名, 記録. Lists 10 female runners and their times for the quarter marathon.

開催日時: 2014年5月18日(日) 9:15~15:00

開催場所: 鴨川公園(京都市北区 北大路橋~出雲路橋、西賀茂橋~出町橋間)

主催: 公益財団法人京都YMCA, 日本YMCA国際賛助会(F CSC), ワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都部

全国後援: 内閣府、厚生労働省、全国社会福祉協議会

後援: 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府社会福祉協議会、京都市社会福祉協議会、京都新聞社、NHK京都放送局、KBS京都、α-STATION FM KYOTO、鴨川を美しくする会

ナショナルスポンサー: 三菱商事株式会社

ナショナルサブスポンサー: 富士通株式会社

協賛協力

企業・団体: 全 107 件、内匿名 1 件(順不同、敬称略)

キャセイパシフィック航空会社、アメアスポーツジャパン株式会社、株式会社公益社、クマガイ工業株式会社、株式会社田中工務店、有限会社サトベン、サンケイアクア株式会社、高田精練株式会社、丸博株式会社、株式会社ゼネラルサービス、医療法人奥村小児科医院、河北印刷株式会社、日の丸漢方株式会社、プティックひまわり、株式会社壬生铸造所、株式会社エイ・エス・ピー、優美印刷、岡田高鍼灸治療院 annex 美和健康館、株式会社上原工務店、京菓子司 三昇堂小倉、株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所、为国印刷株式会社、CLUB Lucky Faces、大野株式会社、小林千春法律事務所、株式会社タモツ紙工、丸和商业株式会社、株式会社ひらのや、大衆寿司酒場 丸福、株式会社中西電気工業、医療法人こう医院、クラシエ薬品株式会社、関西富士プレジジョン 株式会社、河合久美子社会保険労務士事務所、太平ビルサービス株式会社、西村工業株式会社、山中油店総合管理株式会社、杏林製薬株式会社、洛陽総合高等学校、株式会社丸玄、グッドスマイルインターナショナル、株式会社M.O.Rオフィス、株式会社萬誠社、松崎社会保険労務士事務所、ピアノバー プレラ、有限会社 MASUICHI、株式会社京阪エンジニアリング、株式会社京屋、株式会社京三運輸、医療法人大山医院、株式会社アトリエ Casha、彩遊館コーポレーション株式会社、株式会社トラスト保険サービス、株式会社サント・ハウジング、有限会社山市商事、みんなのカフェ ちいろば、三和管工株式会社、株式会社洛陽、株式会社大都測研、有限会社瀬本電機商会、アイディーコンサルティング株式会社、創栄図書印刷株式会社、柳工務店、ジェイハンス株式会社、株式会社山田造園、流体計画株式会社、金原社会保険労務士事務所、西村紙器株式会社、永機建設株式会社、株式会社村田建材、株式会社オプティム、オクセ株式会社、中村産業、株式会社小畑設備工業、森田木材有限会社、有限会社造園 竹、フラハーウ ホーヒエヒエ、株式会社田中塗師勘、株式会社島田建設、株式会社造園中原、大岩建設工業株式会社、ANAクラウンプラザホテル京都、アトランティス株式会社、ウエスティン都ホテル京都、株式会社イマムラ、株式会社上田屋、株式会社エレファント、京・泰山木、京つけもの 新町 三宅、京都府鍼灸師会、京都ロイヤルホテル & スパ、きらきらひかる、グランドプリンスホテル京都、グルメサブライズ、公益財団法人 日本 YMCA 同盟 東山荘、コココーラウエスト株式会社、サントリーフーズ株式会社 近畿支社、ホテル日航プリンセス京都、美津濃株式会社、メルパルク京都、有限会社米清、リーガロイヤルホテル京都、京都ブライトンホテル、御所西 京都平安ホテル、高田自動車、有限会社文祥堂書店、株式会社仁科旗金具製作所

個人: 全 86 件、内匿名 3 件(順不同、敬称略)

倉卓也、戸口一雄、澤辺 吉信、中島 晃、金澤 市郎、中目 大、西脇 稔、桂 厚子、中島 勝、深瀬 健一郎、日丸 全士、廣澤 恭子、有澤 泰伸、大槻 泰子、乙坂 優次、西川 寿一、山岸 裕明、家喜 博矢、井上 彰、小西 孝典、新納 麻衣子、杉本 泰造、高岡 昇、田中 一馬、堤 雄次、奈須 直樹、福井 将一、古川 安雄、为国 光俊、高間 正夫、中路 教義、井上 道子、森 伸二郎、三村 良樹、大森 夏彦、隠塚 文香、川勝 政男、小櫻 武彦、谷口 龍一、塚本 優子、堀 靖之、間瀬 洋一、松谷 紀彦、安田 久理人、安原 弘治、山岸 弘侍、吉岡 幸次、後藤 有志、上野 京子、船木 順司、高坂 訓、澤田 賢司、藤原 君仁、山藤 哉、情野 剛、内廣 建、森 常夫、八木 悠祐、吉井 崇人、森 繁樹、内田 雅彦、亀井 久照、中村 典子、東田 吉末、宮崎 健太、宇高 史昭、牧野 万里子、辻中 康宏、若本 敬子、安平 知史、大田 龍二、好崎 志保、五十嵐 由紀、石若 義雄、太田 雅彦、岡西 博司、岸本 伸也、佐藤 昌利、佐藤 私子、菅原 樺一、竹山 直司、中瀬 美樹、中村 裕一

協力団体 (敬称略)

京都ノートルダム女子大学 チアリーダー部 AMIGAS、吹奏楽団ハイブリッド、京都学生祭典 京炎そでふれ!、フラハーウ ホーヒエヒエ、京都YMCA フラダンス

運営協力団体 (敬称略)

- 京都ワイズメンズクラブ
京都ウエストワイズメンズクラブ
京都キャピタルワイズメンズクラブ
京都センチュリーワイズメンズクラブ
京都洛中ワイズメンズクラブ
京都グローバルワイズメンズクラブ
京都トップスワイズメンズクラブ
京都東稜ワイズメンズクラブ
京都ZEROワイズメンズクラブ
京都パレスワイズメンズクラブ
京都めいぶるワイズメンズクラブ
京都プリンスワイズメンズクラブ
京都ウイングワイズメンズクラブ
京都エイブルワイズメンズクラブ
京都みやびワイズメンズクラブ
京都トゥービーワイズメンズクラブ
京都ウェルワイズメンズクラブ



# 京都めいぶる ワイズメンズ クラブ

京都めいぶるワイズメンズクラブ  
第 32 期会長 青木繁幸

例会日：第 2・4 月曜日  
会 場：ウェスティン都ホテル京都  
設立年月日：1983 年 11 月 23 日  
メンバー数：27 名

京都めいぶるワイズメンズクラブは京都パレスワイズメンズクラブの子クラブとして 30 年前に誕生しました。このとき双子クラブとして京都キャピタルワイズメンズクラブも同時に誕生しております。

めいぶるクラブの活動ですが、ワイズメンズクラブですから当然 Y M C A のサポートが主な活動となります。私たちがサポートさせてもらっているのは、7 月にサバエキャンプ場開設ワークに参加。主なワークはキャンプ場入口のゲート組み立て、旗立台ボールの設置、浜への備品運びといったところです。11 月は Y M C A 専門学校学園祭での店舗(焼きそば)参加協力、リトセンオータムフェスタへの参加協力、3 月は卒業リーダー祝会への参加とアルバム製作費の一部負担、3 月はリトセン夜桜フェスタへの出店協力、同じくかがわチャリティーランへの出店協力とスタッフ派遣とほぼ 1 年間 Y M C A をサポートしております。



もう一つの支援先は京都市民福祉センター(西陣会)です。ここは様々な活動を行っているところで我々はその中で特にフラット事業というものを支援しております。これは知的発達障がいの方が昼間の仕事を終えて、夜センターに集まり、みんなで喫茶店に行ったり、カラオケ、ボウリングという普通の娯楽を味わい、健常者との壁をなくそうという活動です。これ以外にもさくら祭りへの参加協力、チャリティーランへの招待と長年お付き合いをしております。

最後にスペシャルオリンピックス(SO)の支援です。SO は知的発達障がいの方々に日常的にスポーツプログラムを提供し、オリンピックと同じように 4 年に 1 回国際大会が開催されます。今のところは金銭的支援ですが行く行くは競技会の企画、支援、またスポーツプログラムへのボランティア協力も考えております。



# わたしたち

京都キャピタルワイズメンズクラブは、1983 年に、親クラブの京都パレスワイズメンズクラブをスポンサークラブとして誕生しました。以来 30 年にわたり、Y M C A に対する奉仕活動を第一の目的とし、その実践を通して「奉仕の心」を学んでいます。又、「例会は親睦の内に素晴らしい人間を創る為の愛にもとづく自己研鑽の場である」ことをモットーに、日々クラブ活動に邁進しています。



当クラブ設立 30 周年にあたり、去る 2014 年 4 月 5 日、全国のワイズメンをはじめとする 280 余名の大勢の皆様方にお集りいただき、30 周年記念例会を開催しました。式典では記念事業としてリトセンに新しいトイレ棟を Y M C A に寄贈させていただいたことを、メンバーが汗をかきながら建設作業に精を出している写真をまじえて報告させていただきました。懇親会では、メンバーの息の合ったタップダンスを披露し、皆様に元気なキャピタルクラブの姿を知っていただけたと思います。

私達クラブは、Y M C A に対する支援活動をはじめとして、様々な奉仕活動を行っていますが、主なものを紹介します。

(リトセン準備ワーク)

夏・秋シーズン前に草刈り、施設の補修、ワーク参加者の昼食作り等をして、心地よい汗をながします。(佐波江キャンプ場ワーク)  
夏のシーズンに向け芝張り、草刈等の作業をします。

(ふれあい広場)

視覚障がい者支援団体「京都 Y M C A がおろぎ」と協働で、視覚障がいの方々と一緒に、様々な観光や見学施設へ出かけ、1 日見学や食事をしながら、心の触れ合いを、楽しんでいきます。

(ベテスタ祭)

知的障害者支援団体「ベテスタの家」が、毎年開催されているベテスタ祭に、焼きそばなど盛りだくさんの食事を提供し障がい者の方々やそのご家族に楽しんでいただいています。

(リトセン・メタセコイヤ・フェスティバル)  
私達が個々に支援している障がい者の方々と一緒に集まれば、さらに楽しいふれあいが生まれるのではと 4 年前に企画し始めたものです。リトセンで知的障がい、視覚障がい、聴覚障がいの方々と一緒にゲームや食事を楽しんでやさしい触れ合いの時間をすごしています。

私達は、このように楽しく奉仕活動をさせていただいていますが、2015 年次期アジア大会では、ユース委員長としてアジアユースコンボケーションに対応する役割を担うことになりました。私達のワイズ活動が世界に目を広げるチャンスと心得、チャレンジしていきたいと思っております。



# 京都キャピタル ワイズメンズ クラブ

京都キャピタルワイズメンズクラブ  
第 32 代会長 菅原 樞一

例会日：第 1・3 火曜日  
会 場：ウェスティン都ホテル京都  
設立年月日：1983 年 9 月 28 日  
メンバー数：40 名



京都 Y M C A で開催された手引きや点字講習の受講者、朗読ボランティア経験者、ワイズメンズクラブメンバーなどが集まり、時代に合った視覚障がい者サポートをしたい、そして視覚障がいを持つ人にとって本当に必要な情報を届けたいという思いから「わいわいネット」を設立し、声の情報誌「わいわいだより」の発行を始めました。以来 17 年間、毎月 1 回、欠かさず発行し希望者に送付しています。

「わいわいだより」は、視覚障がいに関する新聞・雑誌等の記事や耳よりの最新情報、便利グッズ・機器などの紹介、イベント情報、旅行案内などを 1 本のテープにまとめたもので、2012 年からはデジ形式の C D 版も発行しています。また、ホームページやメールマガジンを毎月 1 回更新・発信しています。リスナーは北海道から沖縄まで全国に約 300 名。その中には、中途視覚障がい者に有益な情報が多いということで、眼科医・視能訓練士などの医療関係者がダビングして患者さんにテープを手渡して下さったり、リスナーが友人・知人に情報を伝えて下さることも多くあり、直接送



水泳は、小さい子どもから高齢者までが楽しめる運動です。全身のあらゆる部位を使って行うため、バランスよく体が育ち、また心肺機能を高める効果もあります。最近の研究では、脳の発達にも良い効果を表すことが示されてきています。

京都 Y M C A では三条本館にある 5 階のプールを利用し、水泳プログラムを実施しています。その中の 1 つである子ども達を対象としたスイミングスクールでは、現在 700 名を超える子ども達が集まり、毎週元気に水泳を楽しんでいます。最年少クラスである 2 歳児親子スイミングに始まり、中学 3 年生までを対象として、週 1 回クラス、週 2 回クラスを開講しています。

指導者は Y M C A スタッフ 6 名に加え、大学生を中心とした 20 名の指導者が泳力別に編成されたグループを担当します。水泳技術の向上はもちろんのこと、子ども達ひとりひとりが人間としてのよき成長の場となることを願い、指導にあたっています。

付している他にも情報を広く届けることができている。

「わいわいだより」は私たちメンバーだけの力で作っているのではなく、リスナーのご協力もあって求められる情報を提供できています。例えば、テープ発行当初は画面読み上げ音声ソフトを使ってパソコンを操作できる視覚障がい者が少なかった中、操作に堪能なリスナーの協力を得て、パソコンを使うことで豊かな暮らし方もできるという連載をしたり、視覚障がいがあっても人生を前向きに楽しんでいられるリスナーへのインタビューも掲載してきました。ホームページ管理やメールマガジン発行はリスナーにお願いしています。リスナーから情報提供や感想が寄せられることも多く、双方向性のある活動となっています。

最近では P C だけではなく、iPad やスマートフォンなども利用して情報を得ている視覚障がい者も増えました。しかし、ネットに溢れる情報の中から取捨選択するには時間と労力がかかり過ぎますし、そもそも I T 機器が使えない方も多いため、月に 1 度の情報量は多くはありませんが、それを必要とされる方に少しでも役立つ情報誌を今後も届けたいと思っています。



## わいわい ネット

わいわいネット

高橋 初枝

設立年月：1997 年 4 月

メンバー数：15 名

# Y M C A に つながる

また、子ども達には水泳の楽しさを伝えながら、できた喜びをたくさん感じてもらえるよう接しています。その喜びがたくさん積み重なり、目標をクリアできた時の達成感が大きくなるよう、半年間の指導を進めています。

基本的な水泳技術を身につけるクラス、水球コースがあり、Y M C A の大会のみならず、日本水泳連盟が主催する競技会にも参加しています。毎年夏に開催される全国 Y M C A 少年少女水泳大会では京都 Y M C A は現在 5 年連続優勝中、今年度もまた優勝を目指し、夏へ向け練習に励んでいます。

Y M C A では水上安全にも力を入れ、取り組んでいます。毎年 6 月は全国の Y M C A で「水上安全キャンペーン」を行っています。一人でも多くの子どもが水難事故に巻き込まれないように、予見できる知識や対処方法を学びます。スイミングスクールの子供達への教育の他、小学校にも出向き、Y M C A の水上安全活動を多くの子ども達に知ってもらえるよう取り組んでいます。

7 月に入り、いよいよ夏本番を迎えます。夏休みの短期講習会は現在募集中、多くの子ども達の参加を願い、価値ある内容の講習会にすべく準備を進めています。



## スイミング スクール

スイミングスクールディレクター

長濱 孝志

活動日：毎週月～土曜日

場所：京都 Y M C A 三条本館 5 階プール

メンバー数：

指導者（リーダー）26 名

受講者（メンバー）720 名

# information

## 京都 YMCA 創立 125 周年記念 キャッチコピーと ロゴマークが決まりました

「次へのステップ みんな一緒に！」  
In Step with the Community for 125 Years

[キャッチコピー]

京都 YMCA 創立 125 周年を記念して「青少年、子ども、家族」「国際協力、平和」「障がい児・障がい者と共に生きる」などをキーワードにして、一人の 1 歩ではなく、市民と共に大きな 1 歩を踏み出すことを願っています。

[ロゴマーク]

みんなと一緒に大きな 1 歩を踏み出すイメージで「KYOTO」……市民みんなが手をつなぐこと「YMCA」の 4 色……YMCA が大切にしている「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」を表しています。



## イギリスで YMCA が設立されて 170 年を迎えました！

イギリスのロンドンで、22 歳の青年ジョージウィリアムズと 12 人の青年が始めた「YMCA」が設立されて 170 年を迎えました！



今では 119 の国と地域、5800 万人の人が活動しています！日本では 35 の都市 YMCA と 37 の学生 YMCA の 14 万人の会員と、7800 人を越えるユースボランティアが活動しています。京都 YMCA からの祝いメッセージです。

## 京都 YMCA 125 周年記念募金のお願い 継続的な活動のための施設整備資金にご協力ください

京都 YMCA は会員、関係諸団体や活動を支持してくださる多くの市民の皆様のご協力と祈りに支えられ今日に至りました。創立 125 周年を迎え、更なる 50 年、100 年と地域においてまた国際社会において創立以来引き継がれてきた地域と人々に奉仕するその使命を果たしてゆくために、記念募金を行うことといたしました。この募金は 125 周年の記念事業及び京都 YMCA 施設整備の基本金とさせていただきます。

- 募金目標金額 3000 万円
  - 募金期間 2014 年 6 月～2015 年 3 月末日
- 募金のお願いは、別途お送りもしくはお渡しいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 聴覚障がい児プログラム研究会マイ・マイ 20 回記念リユニオン夏キャンプ

京都 YMCA と聴覚障がい児プログラム研究会が主催してきたマイ・マイキャンプに参加した子どもたちやリーダーが 20 回キャンプを記念して一堂に会する夏キャンプをサバエキャンプ場で開催し、再開の機会を作ると共に、参加した子どもたち（青年）が指導者としてかかわるキャンプ運営を目指すきっかけの場をつくります。

- 日 程：2014 年 8 月 9 日～10 日
  - 場 所：京都 YMCA サバエ教育キャンプ場
  - 参加対象者：・聴覚障がいを持った小学 4 年生～中学生、及び参加希望者の小学生以上の兄弟姉妹や友人
  - ・過去のマイ・マイキャンプに参加した高校生以上の青年、及びボランティアリーダー
- お問い合わせ：聴覚障がい児プログラム研究会マイ・マイ 宇高  
tel :075-231-4388 (京都 YMCA 三条本館)  
e-mail : fumiaki.utaka@gmail.com

## 子ども達にすてきな夏を！ サマープログラム参加受付中



夏休みは、子どもたちがかけがえない経験をする絶好の機会です。京都 YMCA の様々な活動にぜひご参加ください。

詳しくは、ホームページ (<http://kyotoymca.or.jp/>) をご覧ください。  
パンフレットのご請求・お申し込みはお電話で。  
京都 YMCA サマーキャンプ事務局 TEL 075-231-4388  
京都 YMCA ウエルネスセンター TEL 075-255-4709